

新大阪駅

70分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 新大阪駅

新大阪駅に埋もれた歴史あり

命をかけて掘られた中島大水道

かつて三国川(神崎川)と大川(淀川)とに挟まれた砂洲を中島と呼び、中島の中央を流れていた中津川の南を南中島、北を北中島(上中島・下中島)と呼んでいました。北中島は低湿地で大雨や洪水のたびに農地に大量の汚水が溜まり、農民たちを苦しめていました。そこで起こったのが中島大水道開削の事件です。



スタート駅

約 70 分

ゴール駅

御堂筋線
新大阪駅
⑦号出口

1

御堂筋線 新大阪駅
⑦号出口

2

さいの木神社

3

西尾六右衛門の墓

4

光用寺

5

中島大水道跡

6

野々宮稲荷大神・力石

7

(野中の巳さん)
立森瑞神

8

正通院

9

木寺子安地藏尊

御堂筋線
西中島南方駅

悪水滞留の被害に苦しんだ農民たちは、排水路を海へ通す大水道掘削工事をなんども幕府に願い出ましたが聞き入れられず、ついに独力で工事決行を決意しました。北中島を東西に貫く9.5kmの大水道を、幕府無許可のままに自力で掘ってしまったのです。

新大阪駅
70分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 新大阪駅

新大阪駅に埋もれた歴史あり

命をかけて掘られた中島大水道

かつて三国川(神崎川)と大川(淀川)とに挟まれた砂洲を中島と呼び、中島の中央を流れていた中津川の南を南中島、北を北中島(上中島・下中島)と呼んでいました。北中島は低湿地で大雨や洪水のたびに農地に大量の汚水が溜まり、農民たちを苦しめていました。そこで起こったのが中島大水道開削の事件です。

スタート駅

約 70 分

ゴール駅

御堂筋線新大阪駅⑦号出口

御堂筋線西中島南方駅

1 御堂筋線 新大阪駅 トレインビュースポット

東京オリンピックの開催に合わせて東海道新幹線の新大阪駅が昭和39年(1964)10月1日に開業し、それに先立って御堂筋線新大阪駅が9月24日に開業しました。プラットフォーム北寄り(江坂方)にトレインビュースポットがあり、テーブルでくつろぎながら発車・到着する電車や引き上げ線に停まる電車を眺めることができます。



2 さいの木神社

北中島の3人の庄屋、山口村・西尾六右衛門、北大道村・澤田久左衛門、新家村・一柳太郎兵衛は名を連ねて、悪水を抜く治水工事を幕府に嘆願しました。一旦は工事許可が下りましたが費用は全額百姓持ちとされ、幕府負担を願い出ると許可が取り消され、延宝6年(1678)、庄屋たちは村々の農民を率いて無許可工事の断行を決意しました。22か村の農民が不眠不休で労役をささげ、大坂湾口までの9.5km、幅22mの中島大水道を50日ほどで完成させたのです。しかし、幕府無許可の禁を破る重罪を犯した3人の庄屋は、細目木と呼ばれていたこの地で、江戸の方角を睨んで自決したと伝えられています。さいの木神社は3人の庄屋の遺徳を讃えたものです。西尾六右衛門の墓は西町霊園の中にあり、いまでも手厚く供養されています。



3 西尾六右衛門の墓



4 光用寺

天平19年(747)、聖武天皇の時代に僧・行基が創建したと伝えられる古寺です。本堂の裏に、「悪七兵衛」と異名を持つ平家方の猛将で、屋島の合戦でも功名をたて、近松門左衛門の浄瑠璃『出世景清』にも描かれた平景清とその郎党の墓があります。



5 中島大水道跡

中島大水道は明治32年(1899)の淀川改修まで立派に機能していました。東淀川区の旧淡路村から発した流路は、このあたりで東海道新幹線の用地になり、新大阪駅も中島大水道の真上に建設されました。西方の水道路跡は道路として整備され、一部は緑道として残っています。



6 野々宮稲荷大神・力石

野々宮稲荷大神の境内に「力石」が安置されています。米1俵ぐらい(約60kg)の重さだといわれ、江戸時代では村の青年が持ち上げてみせ、十分に力のついたことを示して、大人の仲間入りを認められたとされています。



7 立森瑞神(野中の巳さん)

蛇を主神とする神社で、地元では「野中の巳さん」と呼ばれて親しまれています。大正末期に村人の夢に現れた蛇が「私を祀れば水不足にならない」と告げ、村で祀ったのが創始です。また、蛇は弁財天の使いとされ、商売繁盛の神として信仰を集めています。さらに、境内には小狸三体(オタケ・八郎・長吉大明神)があり、安産・病氣平癒の神として信仰されています。



8 正通院

江戸時代中頃に天満の惣年寄を務めた金谷歳次郎が創建した曹洞宗の寺で、金谷家から出た三碩、興般などの学者や文人の墓や、江戸時代後期の日本画家で日本各地の名所図会の挿絵を描いて人気となった 都関月の墓があります。



9 木寺子安地藏尊

もともとこの地にあった木寺村の地蔵尊です。木寺村は明治16年(1883)に川口新家村と合併して、それぞれの旧村名から1字ずつとって木川村となり、いまの地名に受け継がれています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年7月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行: Osaka Metro

協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行